



【先週 2月21日～2月27日の外食の出来事】

■スシロー、京樽買収 吉野家から全株取得、完全子会社化

スシローは、吉野家の100%子会社である京樽を買収し、完全子会社化する。スシローは吉野家との間で株式譲渡契約を結んだ。スシローは京樽を傘下に収めることで、新型コロナウイルスで高まるテークアウト需要を取り込む。

■ワタミ、第3四半期(2020年4月～12月)の連結業績 減収赤字

2021年3月期 第3四半期の連結業績は売上高465億2100万円(対前年同期比33.3%減)、営業損失69億2400万円(-)、経常損失59億1700万円(-)、四半期純損失85億3900万円(-)であった。

■吉野家、フィリピン最大手ジョリービーと合弁 10年で50店舗

株式会社吉野家ホールディングスが、フィリピン外食最大手のジョリービーフーズ Jollibee Foods Corporationと合弁契約を締結し、フィリピンで「吉野家」を10年で50店舗出店を目指す。

■フジオフード、前期最終赤字49億円 店舗休業響く

2020年12月期の連結決算は、最終損益が49億円の赤字(前の期は1億300万円の赤字)だった。店舗の臨時休業による損失や収益性低下に伴う減損損失などで約27億円の特別損失を計上した。

■モスフードサービス、第3四半期(2020年4月～12月)の連結業績 増収減益

2021年3月期 第3四半期の連結業績は売上高535億9000万円(対前年同期比2.9%増)、営業利益9億7500万円(同14.6%減)、経常利益10億4200万円(同20.4%減)、四半期純利益2億2700万円(同63.5%減)。

■トリドールホールディングス、第3四半期(2020年4月～12月)の連結業績 減収赤字

2021年3月期 第3四半期の連結決算は売上収益1008億2000万円(前年同期比15.5%減)、営業損失17億2700万円(-)、税引前損失32億8200万円(-)、四半期損失22億900万円(-)であった。

■イトアンドHD、第3四半期(2020年4月～12月)の連結業績 減収減益

2021年2月期 第3四半期の連結業績は売上高210億8000万円(対前年同期比6.8%減)、営業利益2億6700万円(同61.1%減)、経常利益2億8700万円(同58.4%減)、四半期純損失6000万円(-)であった。

■サガミホールディングス、第3四半期(2020年4月～12月)の連結業績 減収赤字

2021年3月期 第3四半期の連結業績は売上高154億7500万円(対前年同期比23.7%減)、営業損失9億5100万円(-)、経常損失9億2000万円(-)、親会社株主に帰属する四半期純損失12億5800万円(-)であった。

■物語コーポ、アドバンテッジからの社債61億払込完了

株式会社物語コーポレーションが、投資ファンドのアドバンテッジパートナーズグループのアドバンテッジアドバイザーズ株式会社に割り当てた社債61億1995万円が2月24日に払込が完了したと発表した。